

令和8年度 福岡県立古賀特別支援学校 学校グランドデザイン

(令和8年4月1日)

障がい種	設置学部等					訪	寄
	幼	小	中	高	専		
知的障がい		○	○	○		○	
病弱		○	○				



学校教育目標

社会生活に必要な基本的な生活習慣、基礎的・基本的な能力を育成するとともに、社会の一員として主体的に考え行動し、自立しようとする実践力を有し、健やかで心豊かな人間の育成を目指す。

- ・基本的な生活習慣の確立
- ・生活に結び付いた基礎学力の向上
- ・生活に活用できる力の育成
- ・生活を豊かにする感性の育成

校訓

希望
友愛
自立

目指す子ども像

- ◆夢をもち、明るく生き生きと、健康な心身をはぐみ続ける児童生徒
- ◆豊かな心をもち、思いやりをもって、協力しあえる児童生徒
- ◆学ぶ意欲に満ち、自ら進んで物事に取り組み、たくましく生きる児童生徒

目指す学校像

- ◆一人一人の子どもを大切にする学校
- ◆学びあい、高めあう学校
- ◆安全で安心して生活できる学校
- ◆家庭や地域に開かれた、信頼される学校

目指す教師像

- ◆豊かな人間性と教育愛にあふれる教師
- ◆かけがえのない一人一人の命と人権を尊重できる教師
- ◆使命感と情熱に満ちた教師
- ◆探究心をもち続け、指導力のある教師

重点目標

(教職員が育ち、知的障がい・病弱教育をリードする学校)

I 個別最適な学びの充実

- 的確な実態把握に基づく学びの連続性を重視した系統的な指導と評価の充実(教課検委・教務)
- カリキュラムマネジメントによる教育活動の充実(教務・学部・教課検委)
- 小中高一貫したキャリア教育の充実(進路・教務・学部)

II 人材育成と専門性の向上

- 福岡県教員育成指標に則った専門性の向上(人材育成委・研修・相談支援)
- 教職員の人権感覚の醸成(人権推進委・研修)
- 個々の実態に応じた児童生徒指導体制の充実(児童生徒・学部)
- ICT活用推進のための実践的研修の充実(情報)

III チーム制を基盤とした組織マネジメントの活性化

- チーム会を軸にチーフ会、企画会、学部主事等会と連動した組織運営(マネジメント)
- 学部やチーム間での情報共有の徹底(学部・マネジメント)
- チーム制の効果的な運用に向けた体制づくりの推進(マネジメント・学部主事等会)

IV 安心・安全に学ぶための環境づくり

- 安心して学べる教育環境づくりの推進(保健・マネジメント)
- 防災等の危機管理体制の充実(児童生徒・保健・安災対策)
- 医療的ケアの安全な実施(保健、医ケア委)

V 知的障がい・病弱教育部門におけるセンター的機能の充実

- 特別支援教育のセンター的機能充実のための組織的支援体制の整備(相談支援)
- 病弱教育における相談機能の充実(病弱)
- 多様なニーズに対応するための関係諸機関との連携強化(相談支援・生徒指導委)

- ①学びの過程と連続性を重視した学習評価の改善と体系的な教育課程の検討(教務・学部・教課検委)
- ②児童生徒の興味や関心に基づくICT機器等の活用と教材教具の工夫(情報・学部・チーム)
- ③的確な実態把握に基づく各教科と自立活動を関連付けた授業の推進(教務・研修)
- ④系統的な進路学習の充実と外部人材を活用した職員研修及び保護者学習会の実施(進路・教務・学部)
- ⑤心身の発達段階を踏まえた系統的な性に関する指導の推進(保健・チーム)

- ①OJLタイムや教員相互の授業参観等によるOJLの充実(人材育成委・研修・相談支援)
- ②児童生徒の自己肯定感を高める環境づくりの推進と教職員の人権感覚を高める取組の充実(人権推進委・研修・児童生徒・相談支援)
- ③学校研究や基本研修等における実践を通じた授業改善(教務・研修・研推委)
- ④ニーズに応じた計画的な研修とICT指導力の向上(研修・情報・各課)
- ⑤不祥事防止の取組の推進(不祥事防止推進リーダー)

- ①教師の専門性や特性・能力を生かしたT・Tの充実(学部・チーム)
- ②個別的教育支援計画・キャリアパスポート等の活用や情報共有による学部やチーム間の連携強化(学部・チーム)
- ③児童生徒の教育的ニーズに沿った学校行事の企画及び実施(学部・チーム)
- ④児童生徒の視点に基づいた学習集団としてのチームの在り方に関する検討(マネジメント・学部主事等会)

- ①学校いじめ防止基本方針に基づく迅速な対応(いじ対策委・児童生徒)
- ②情報漏洩や情報機器の紛失等を防止するための管理体制の強化(情報・情報セキュリティ委)
- ③PTAとの連携による防災対策の充実(庶務広報・安災対策)
- ④保護者を交えた緊急下校訓練の実施とヒヤリハット事例の周知・改善による事故防止の徹底(児童生徒・保健・安災対策)
- ⑤看護職員や医療関係者との連携による安全な医療的ケアの実施(保健・医ケア委・学部)
- ⑥児童生徒が安心・安全に学習できる感染症対策の実施(保健・チーム)

- ①学校開放による開かれた学校づくりの推進と保護者・地域との連携強化(教務・学部)
- ②外部機関等と連携した教育相談会等の企画運営(相談支援・学部)
- ③病弱教育のセンター的機能の活性化に向けた関係機関等との連携強化(病弱)
- ④巡回相談員の育成を目指した教育相談体制の整備(相談支援)
- ⑤学校の情報発信のためのHPとあんしんメールの効果的活用(庶務広報・情報)
- ⑥医療・福祉等の専門家や行政諸機関との連携協働(相談支援・生徒指導委)

具体的方策

保護者・同窓会・後援会・放課後等デイサービス・支援センター等地域との連携